

ネットリサーチ DIMSDRIVE「計画停電」に関する調査結果を発表

7 割が「生活時間に変化あり」…事前にスケジュール立てられず、不便

東京 21 区などの停電、「条件の範囲内で」40.2%、「近県と同じ条件で」33.5%…肯定派 7 割

インターワイヤード株式会社運営のネットリサーチサービス「ディムスドライブ」(本社:東京都品川区)では、『東日本大震災に関するアンケート』を 2011 年 3 月 25 日～3 月 28 日に行いました。本リリースでは「計画停電」による生活の変化・対象外エリアの停電可否について、今後の計画停電への疑問・不安などについて、まとめました。計画停電対象になっている都道府県在住者(東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・群馬・山梨・静岡)4,914 人の回答をまとめています。

3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震により亡くなられた方々のご冥福と、被害に遭われた皆様、そのご家族の方々に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り致しております。

調査結果の詳細 <http://www.dims.ne.jp/timelyresearch/2011/110411>

実施している節電は「照明をこまめに消す」「暖房を控える」

震災後の、家庭での節電状況について尋ねたところ、「節電はしていない」は僅か 4.3%で、95%以上の人が震災後、節電をしている事が分かった。方法については、「照明をこまめに消す」83.0%、「暖房の使用を控える/設定温度を下げる/使用しない」69.0%、「使っていない家電の電源プラグを抜いておく」43.7%となっている。

節電された街…半数が「差し支えない」

店や施設、企業でも節電が行われ、ネオンや照明、BGM、暖房などが控えられている。そんな『節電された街』について、半数近くの 47.8%が「不便・不都合だと感じる事もあるが、差し支えない」と回答。また 28.6%が「全く不便・不都合だと感じていない」と回答。

多くの人は、暖房や照明が控えられていても問題は無い、と感じている事が伺える。
(さみしさなどは感じているかも知れませんが…)

7 割が「生活時間に変化あり」…事前にスケジュール立てられず、不便

■計画停電による、生活時間の変化

停電対象の1都7県に住む人の 7 割が、『計画停電によって生活時間・スケジュールに変化が出た』と回答した。どんな変化があったかについては、「夕食の時間帯」30.9%、「家事をする時間帯」30.6%、「入浴の時間帯」26.8%、「就寝時間」24.4%と続いた。「出勤時間」「帰宅時間」が変わった人も、1 割以上となっている。多くの人の生活スタイルが、計画停電で変わったようである。

■計画停電で困っている事

“計画停電によって困っている事”については、「直前にならないと停電の有無が分からない」が最も多く 44.0%であった。

前問では生活時間が変わった人も多く、「予定が立てられない」という回答もあったことを踏まえると、『事前にスケジュールを決められない事が不便・ストレス』となっている人が多い事が伺える。

以下、「お店が閉まってしまう」38.8%、「部屋が寒い(暖房を使う事ができない)」34.5%、「電車・バスの運休/ダイヤ乱れ」31.6%と続いた。また、「停電中はする事が無い/暇を持て余す」という人も 24.7%いた。

東京 21 区なども停電させるべき?? 「条件の範囲内で」40.2%、「近県と同じ条件で」33.5%・・・肯定派 7 割

停電の対象外である東京 21 区(3/25 現在:荒川区・足立区除く)などでも計画停電を実施するべきかどうかを尋ねた。

1都7県在住者の 33.5%が「近県と同じ条件で、計画停電を実施すべきだと思う」と回答。

また、40.2%が「条件の範囲内で、ある程度計画停電を実施した方が良くと思う・実施エリアを増やした方が良くと思う」と回答した。

73.7%が対象外エリアの計画停電実施に肯定的であるが、「条件」を考慮している人も多い。

「実施しない方が良くと思う」と回答した人は 13.1%である。

<都・県別>

現在対象になっていない【東京 21 区】でも、59.0%と 6 割が肯定派。ただ、「条件の範囲で」という人が多い。

都心部の停電については諸々懸念されている事も多いからか、【21 区】・【23 区以外の東京都】・【荒川区・足立区】の東京都内在住者は「条件の範囲で」という割合が 4 割を超えている。

【東京 21 区】で「実施しない方が良く思う」という『否定派』は 23.9%となっており、静岡を除く他のエリアの 2 倍以上となっている。

<停電経験による違い>

【停電経験者】→【対象エリア在住:経験無】→【エリア対象外】の順に、肯定派が減少、否定派が増加。

【停電経験者】では『否定派』は 7.6%と僅かである。

また、「近県と同じ条件で」の割合は大きく違っており、【停電経験者】では 46.7%と半数近くに上る。

停電の経験有無によって、『エリア外地域の停電のあり方についての意識』が違っている事が伺える。

東京 21 区での計画停電…「大きな不公平感」と「都心機能ストップの不安」で意見割れる

計画停電を実施するべきかどうかの回答について、その理由は様々であった。

エリアや前問の回答によって意見が綺麗に分かれるという事は無く、どのエリアに住んでいる人でも、まんべんなく意見が集まっている。しかし、やはりエリアや停電経験によって、意見の強さや、切実さ、回答内容の割合などは違っている。

★不平等、不公平を感じる人多数

区割りに「不平等・不公平さ」を感じている人がかなり多かった。

特に“不公平”という言葉については、理由を記入した人の 4 人に 1 人が使用している。

対象外エリアの人でも不公平さは感じているようで、どの地域に住んでいる人でも回答が多かった。

★都心部を停電にすることへの懸念・不安も

都心部を停電にする事については、首都機能の停止・経済機能の停止・人口の多さによるトラブルなど、21 区への停電肯定派・否定派、どちらの立場の人も、程度の違いはあるが、懸念や不安を感じている。

また、経済がストップするという観点から、『住宅地は計画停電を実施し、工場・企業はなるべく避ける』という提案が多数挙げられた。

★対象エリア・対象外エリアでの温度差

対象エリアでも「21 区などは停電させるべきではない」という人もいるし、21 区に住む人も「申し訳ないので停電してほしい」という人も多い。ただやはり、実際に停電を経験した人は不公平感をより強く感じており、生活がままならない事に悩んでいる人が多い。実体験に基づく感想を述べているケースが目立つ。

対象エリアで停電の経験が無い人・対象外エリアの人では、“意見・提案”といった論調の方が多かった。

夏場が不安。情報が曖昧。不安点がまだまだ多い、今後の計画停電

4 月 7 日現在、計画停電は 4 月で終了する事が検討されているが、3 月 28 日時点で思う、「今後の計画停電」について、疑問点や不安を挙げて貰ったところ、多岐にわたる回答が寄せられた。

主に「情報がはっきりしない」、「直前の変更は困る」、「信号・病院などの停電について」、「経済停滞の懸念」、といった回答が挙げられたが、「いつまで続くのか」という、先が見えない点について不安を抱えている人も多い。春以上に電力を使う夏場についても、心配する回答が多く寄せられた。

★詳細な情報を!

情報提供の曖昧さ、不足、変更によるものが多い。どのグループに属しているかが未だに分からない、という人も多く、ホームページを見る事ができない環境の人は困っているようである。

グループの中で停電したりしなかったり・・・という事で、情報を信用して良いのかどうか、迷いも見られる。

★夏場の心配

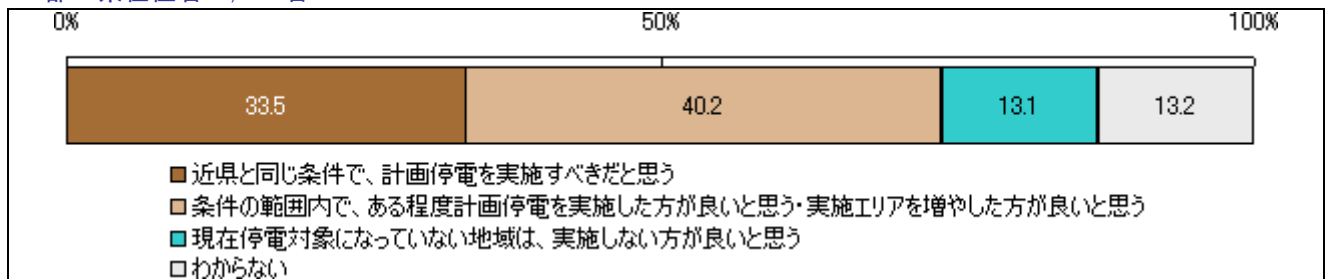
昨年の猛暑もあり、夏場の電力を心配する声が多かった。高温で飼えないペット、高齢者、乳児などが居る家庭では深刻な不安になっている。また、計画停電を行っても電力が不足するのではないかと、との懸念も。

グラフ・コメント(抜粋)

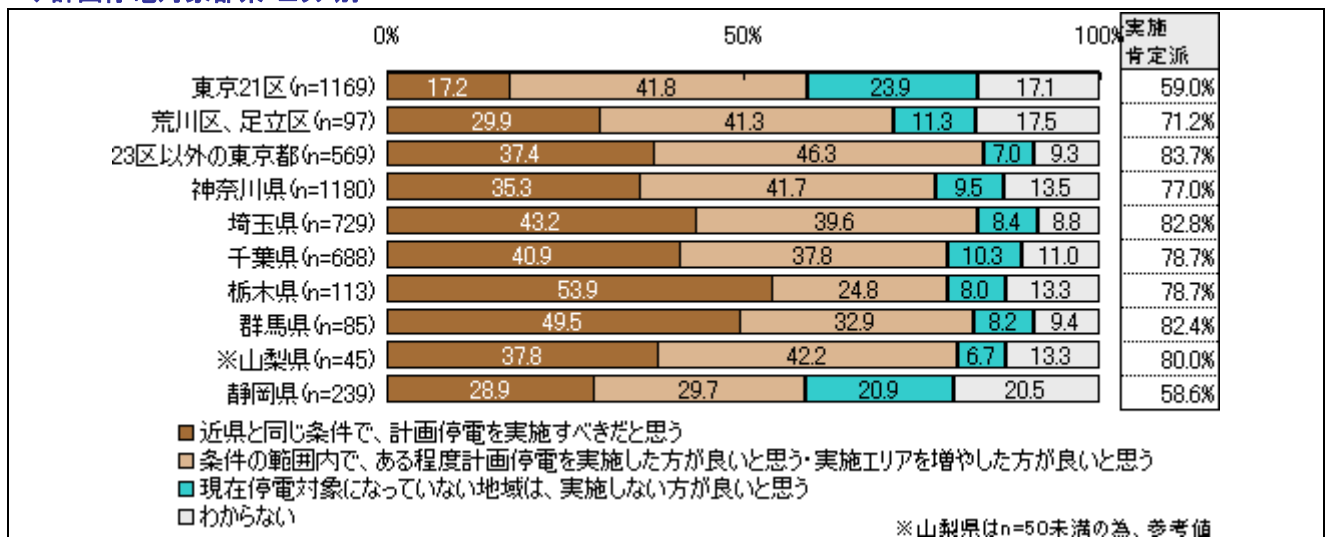
【Q: 東京 23 区など、被災地以外で停電対象になっていないエリアも、計画停電を実施すべきだと思いますか。】

※荒川区・足立区など、計画停電が行われている区もある旨、アンケート画面上で説明文を記載

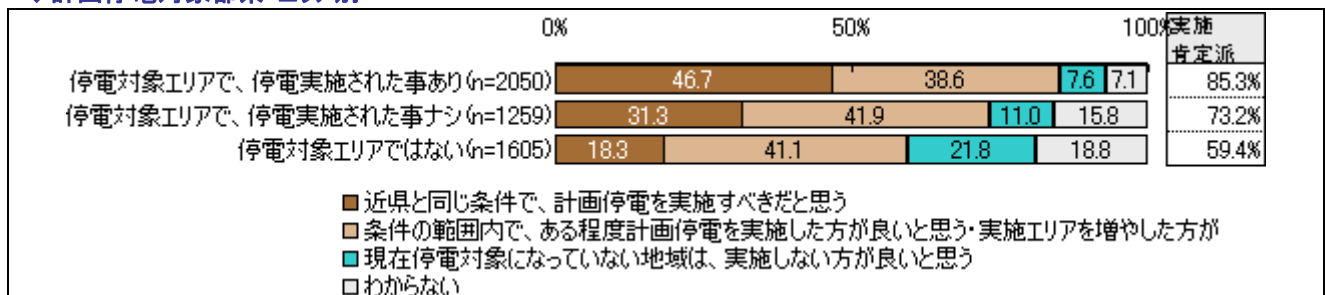
1 都 7 県在住者: 4,914 名



◆計画停電対象都県・エリア別



◆計画停電対象都県・エリア別



【Q: 上記のようにお答えになったのはなぜですか。(自由回答)】(自由回答)

◆近県と同じ条件で実施すべき...

・23 区が一番電気を使っている。・自分たちだけ不便せず暮らせることが申し訳ないので・住んでいるところで分けるのは、ある種差別的なことだと思う・なるべく多い地域で実施したほうが、一度にかかる負担が減ると思うから。

◆条件のもと実施、エリアを増やすべき...

・住宅地域に関しては差別する必要はない・ビジネス街でも早朝・深夜なら対応可能だと思う
・経済活動を考慮すればある程度の対象外区域はあっても良いと思う。

◆条件のもと実施、エリアを増やすべき...

・常に停電にならない地区があるのは安心・企業の本社などが集中していたり、電車の運行本数が多いなど、経済活動への影響が大きいから。・自宅と通勤先と両方が停電ではさらに不便になりそうだから。

【Q: 今後の計画停電について、疑問や不安に思う事があれば、ご記入ください。】(自由回答)

・いつこういう状況が改善されるのか希望が持てない・ただでさえ消費電力が多い夏が心配。
・HP上に掲載されていても見ることができない人は確認ができない。・信号、救急病院などは停電を避けるべき
・いつ失業するかわからない。計画停電で仕事が成り立たない

調査項目

【リリース資料:震災後の品不足に関する調査結果】 http://www.dims.ne.jp/timelyresearch/2011/110408_01

- 被災状況・日常生活困難の有無
- 震災後、日常生活で困っている(困った)事
- 入手困難品目の、入手方法(①水・食料品・日用品、②ガソリン・灯油)
- ガソリン節約について
- 震災後の節電方法

【リリース資料:計画停電に関する調査結果】 http://www.dims.ne.jp/timelyresearch/2011/110408_02

- 節電された街は不都合か
- 計画停電の対象・非対象、停電経験の有無
- 計画停電による影響(生活スケジュールの変化、計画停電で困っている事)
- 対象外エリア(東京 21 区)なども、計画停電を行うべきか・その理由
- 今後の計画停電に対する疑問・不安

調査概要

調査方法	インターネットを利用したアンケート調査
調査期間	2011 年 3 月 25 日～3 月 28 日
調査対象者	DIMSDRIVE モニター 4,914 人
対象地域	東京電力の計画停電 対象都道府県 1 都7県 (東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・群馬・山梨・静岡)

◆計画停電エリア

地域	N	%
東京都	1835	18.0
神奈川県	1180	11.9
埼玉県	729	7.3
千葉県	688	6.9
栃木県	113	1.1
群馬県	85	0.9
静岡県	239	2.4
山梨県	45	0.5

◆都内停電エリア

地域	N	%
東京 21 区	1169	63.7
足立区・荒川区	97	5.3
23 区以外	569	31.0

ネットリサーチのDIMSDRIVEについて

インターワイヤード株式会社が運営する『DIMSDRIVE』は、全国に 18 万人のモニターを擁し、インターネットリサーチを通じて調査企画・設計から分析・提案までを提供する、マーケティングのトータルソリューションサービスです。広告効果測定やライフスタイル分析など、目的に応じた調査でお客様の戦略立案をサポートしています。

本アンケートは、DIMSDRIVEの公開調査「タイムリーリサーチ」の企画調査です。

- ◆DIMSDRIVEホームページ <http://www.dims.ne.jp/>
- ◆DIMSDRIVE【Timely Research】ホームページ <http://www.dims.ne.jp/>

＜所在地＞ 東京都品川区東品川 2-2-25 サンウッド品川天王洲タワー3F TEL:03-5463-8255
＜代表者＞ 斉藤 義弘
＜事業内容＞ Web マーケティングリサーチサイト「DIMSDRIVE」運営

＜調査結果に関するお問合せ＞

インターワイヤード株式会社 『ディムスドライブ事務局』
TEL: 03-5463-8256 Email: timely@dims.ne.jp